



広報

いながわ

平成13年(2001年)4月15日第600号

町花
つつじ



町木
松



昭和46年4月1日制定

編集・発行 猪名川町役場町長公室広報広聴係

〒666-0292 兵庫県川辺郡猪名川町上野字北畑11-1 電話番号 0727 (66) 8707 ファックス番号 0727 (67) 2255
ホームページアドレス (URL) <http://www.town.inagawa.hyogo.jp> 電子メールアドレス koho@town.inagawa.hyogo.jp

毎月1日・
15日発行

広報いながわへのメッセージ



小島 千穂さん
(松尾台)

毎回読んでいます。ひと通り軽く目を通した後は居間の掲示版に貼っておき、手の空いた時にすぐ見直せるようにしています。

もうすぐ一歳になる子どもがいるので「保健だより」や子育てに関する記事が一番先にチェックしています。

猪名川町民歴二年の私にとって、広報は町を知るために欠かせない情報源です。情報量も多すぎず少なすぎず、レイアウトも見やすいと思います。「役場のお仕事は？」は役場を身近に感じる事ができ大変興味深いコーナーです。

時々新聞広告と一緒に処分してしまい、読みそこねる事もあります。

町の歴史や、各地区の家族紹介、ペット紹介などの町の人の顔が見えるコーナーが大好きです。

私は、毎月2回発刊の広報が、より多くの人に親しまれ読まれるよう、紙面の大きさはA4またはB4の大きさでファイルができることや、町として大きな問題、町長の考えなどをシリーズにして、広報すべきと考えます。また、行政面以外で読者をひきつけるものとして、「特派員報告」「文芸」欄だけでなく、「伊東家の食卓」的なものや、町の



足立 行雄さん
(旭ヶ丘)

「地名由来」などを入れてほしいと思います。



須賀原 治海さん
(つつじが丘)

我々シルバー世代は、皆がすぐやかな老後を望んでいます。「広報紙」から色々な情報を取り入れ、微力ながら町への貢献にも努力したいと考えています。私は、情報から得た「シルバー人材センター」に登録し、生き

がいつまで、健康で、仲間づくりに励む毎日です。今後は、活躍する高齢者へのインタビューや、希望に満ちた日常生活を送る方々の原動力、人生観なども掲載していただきたいと思います。さらに、「広報紙」は、行政、文化、教育、福祉、健康など幅広い情報によって住民のコミュニケーションが図られるような役割を果たしていただきたいと思っています。

私は、猪名川町松尾で生まれ育ちました。仕事の関係もあり、現在池田市に住んでいますが、故郷の様子を知りたいと、500号前後から郵送していただいています。関係者各位が、よりよい広報、町民に親しまれる広報を目指し、取り組まれている様子を、毎回紙面の感想を送っています。

広報は政治的には中正でなければならないことは勿論ですが、町政を的確に広報し、なおそのうえに、猪名川町の将来ビジョンと現状、町民生活



平井 源一さん
(池田市)

を豊かにする指針あるいは町民としての連帯感の醸成等その果たすべきことは多々ありそうですが、ますますよりよい広報に発展しますことを祈念します。

「広報いながわ」は、本号で600号を数えます。

猪名川町が誕生した翌年の昭和31年4月に発行をはじめ以来、みなさんに親しまれる、分かりやすい広報を目指して45年が過ぎました。21世紀の町づくりを進める中で広報紙の役割は住民と町をつなぐ身近な媒体として、大変重要な役割を担っています。これからも、町の情報提供の役割を果たし、さらに親しまれる紙面づくりをめざすため、読者のみなさんの声を伺いました。



松本 繁嗣さん
(広根)

私は、猪名川町に引越してきて三十年になりましたが、町外に勤めているせいもあり、町内のことは家族に任せきり、地域の行事もあまりわからないという情けない状態です。そのような中で町の広報は、行政側からの情報やそれぞれの団体・地域がどのような活動



夏山 幸代さん
(万善)

十二年度は、広報のママさんレポーターに任命されたおかげで、「広報いながわ」を読む姿勢が変わりました。同時に小学校PTAの新聞を作るメンバーにもなりましたので、「広報いながわ」を作り手側の立場からも見させていただき

広報紙は、新聞折込と郵送により各家庭へ届けています。現在のサイズは新聞折込が可能なタブロイド版を使用しています。創刊以降、毎号住民のみなさんに親しまれる紙面づくりをめざし、改善を加えながら取り組んでまいりました。今は、より早い情報を提供するため、毎月一日と十五日の二回の発行を行うとともに、幅広く住民のみなさんの意向を反映させるため、紙面への感想や地域の情報を提供いただく、ママさんレポーターの設置や、広報担当者とは違った角度から、町の話題を提供する特派員のコーナーを設けるなど、時代に合った内容と期待に添える紙面の提供に努めています。今後とも、怠らないで意見、ご感想、ご要望などお聞かせください。

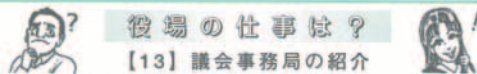
より親しまれる紙面に努めます



町の歴史とともに

600号

発行



役場の仕事は？

【13】議会事務局の紹介

町議会(議員20人)の活動を総務、会議運営、情報提供の面でサポートするのが議会事務局の仕事です。

町議会定例会(3・6・9・12月の年4回)や委員会の議事運営が通法・通正で円滑に行われるよう補助しています。具体的には本会議、議会運営委員会、常任委員会(総務文教・産業建設・民生福祉)、特別委員会(議会広報特別・予算特別・決算特別委員会等)などにおける議長・委員長の補佐や会議資料等の作成、会議室の準備などを行っています。

また、委員会で行う各種調査活動に際し、調査先との調整や情報収集業務などの業務と共に質問や陳情、要望も受け付けています。

議会とは、執行機関とともに、自治体運営の車の両輪といわれています。議員が住民生活に影響の大きい予算や条例案を審議することによって、民意が行政に反映されるよう、重要な本会議、委員会と連動して活動しています。

現在では、定例会のほかに委員会も開催しており、審議状況が把握でき、それらの内容は定例会開催後の「いなわ通信」に掲載されています。

また、事務局では監査委員事務局および公平委員会事務局を兼ねています。

問い合わせは、議会事務局 ☎69-8710 へ。



福祉

住宅改造成成制度

高齢者が安心して暮らすための住宅改造成成制度。住宅改造成成制度とは、高齢者が安心して暮らすための住宅改造成成制度。住宅改造成成制度とは、高齢者が安心して暮らすための住宅改造成成制度。

道の駅いなわ

「春のカーニバル-遊ぼう食と文化-」を開催

町内産の新鮮野菜や特産品の販売、打ちたてそばの提供やそば打ち体験など、交流の場として開かれている道の駅「いなわ」が、春のカーニバルを開催します。ぜひお立ち寄りください。

日時 4月21日(土)・22日(日) 午前10時～午後4時

ところ 道の駅「いなわ」(万葉字竹部7-1)

問い合わせは、産業課 ☎66-8700 へ。

第34回いなわまつりの「テーマ」を募集

住民相互の交流と文化活動の発表の場として、11月3日(祝)に「第34回いなわまつり」を開催します。

今年は、21世紀の幕開けとなる年であり、より親しみやすい「いなわまつり」にするため、次のとおり開催テーマを募集します。採用には、記念品を贈呈します。

なお、テーマ以外にも開催内容など、意見があれば応募用紙の備考欄に記入ください。

応募期限 5月1日(必着)

発表 7月上旬(予定)

応募は、企画推進室、社会教育課、民生・六瀬住民センターに郵付での応募用紙に必要事項を記入のうえ、いすけの窓口へ提出してください。(郵送可)

問い合わせは、企画推進室 ☎69-8711、社会教育課 ☎67-2600 へ。

いなわまつり参加団体については、7月1日号で募集します。



▲昨年のいなわまつりの様子

国民健康保険健康診断等助成金・申請方法

対象	助成額	申請方法
町が実施する各種検診	全額	対象者に事前配布している検成券を持って受診(検成券)後、領収書を持って保健課へ申請することによって助成金を発行
市立川西病院で受診した人	31,500円	事前配布の検成券を持って保健課へ申請することによって助成金を発行

※ 対象者と認められる人で、助成券が配っていない人は申し出て下さい

市立川西病院人間ドックの利用

市立川西病院で人間ドックを受ける方は、町が実施する人間ドックの検成券を持って受診してください。

検成券は、町が実施する人間ドックの検成券を持って受診してください。

クリーンセンター清掃作業委託員の募集

町では、クリーンセンターの清掃作業を委託しています。清掃作業委託員の募集を行います。

募集要項は、町役場環境課で配布しています。



▲クリーンセンターの清掃作業

みんなの夢や希望を20年後に！タイムカプセル除幕式

商工会青年部が新世紀を迎える企業として実現したタイムカプセルが、タイムカプセル除幕式を開催します。

タイムカプセルとは、20年後の未来を予測するためのタイムカプセルです。



▲タイムカプセルの除幕式

イナワトムソーヤーズ参加者募集

ジュニアリーダー養成講座「イナワトムソーヤーズ」を実施します。

参加費 入会時1,000円、各行事ごとに実費

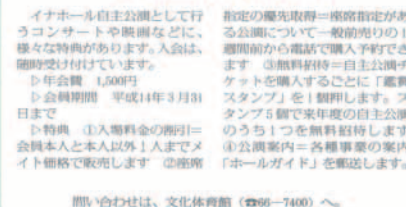
定員 50人(先着順)

申込は、町役場青少年課で受け付けます。

イナホールメイトの募集

イナホール自主公演として行うコンサートや映画などに、様々な特典があります。イナホールメイトの募集を行います。

募集要項は、イナホールで配布しています。



▲イナホールメイトの募集

おいしい水、きれいな空気、その源は森の緑です。

町では、森林の緑を守り、きれいな水と空気を提供しています。森林の緑は、私たちの生活にとって大切なものです。

森林の緑を守り、きれいな水と空気を提供しています。



▲森林の緑を守り、きれいな水と空気を提供しています

4月23日～29日は「みどりの週間」

4月23日～29日は「みどりの週間」です。この期間は、緑の大切さを伝えるための週間です。

みどりの週間には、様々なイベントが行われます。



▲みどりの週間のイベント

お知らせ

町では、様々なお知らせを行っています。お知らせは、町役場で配布しています。

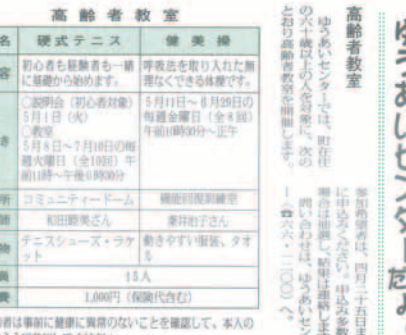
お知らせは、町役場で配布しています。



▲お知らせの配布

高齢者教室

教室名	硬式テニス	健康体操
内容	初心者も参加できる。呼吸法を取り入れた無理なくできる体操です。	呼吸法を取り入れた無理なくできる体操です。
とき	5月1日(水)～5月28日(金) 毎週金曜日(金4回) 午前10時30分～正午	5月1日(水)～5月28日(金) 毎週金曜日(金4回) 午前10時30分～正午
場所	コミュニティセンター	コミュニティセンター
講師	和田雅夫さん	森田孝子さん
持ち物	テニスシューズ・ラケット	動きやすい服装、タオル
定員	15人	15人
参加費	1,000円(保険代含む)	1,000円(保険代含む)

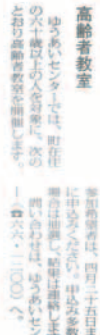


▲高齢者教室の募集

ゆづあいセンター

ゆづあいセンターは、高齢者の生活を支えるためのセンターです。様々なサービスを提供しています。

ゆづあいセンターは、高齢者の生活を支えるためのセンターです。



▲ゆづあいセンターのサービス

いながわ特派員

きり

報告

今年四月からいながわ特派員が変わりました。新しい特派員は白金の鎌屋郁子さんと若葉の森英美子さんです。新しい特派員のレポートは五月十五日号からとなります。今回は、新特派員と前特派員の引き継ぎでの対談の様子をお伝えします。

特派員になった動機は?

鎌屋 こんにちは、今日はお世話になります。これからのために色々なお話を聞かせて下さい。まず、上田さんと小林さんが、いながわ特派員になられた動機を聞かせていただきます。

小林 私の場合は特派員をする以前は、PTA活動を四年間していた。娘の中学校卒業でPTA活動から離れることになったタイミングと特派員の募集のタイミングが重なったので、私は専業主婦だったので、毎日の生活がマンネリ化

とびきり

しており、その中で何か変化が欲しかったのと、この町のことをもっと知りたいという動機もあり申込みました。たくさん応募があったみたいで特派員になれるとは思わなかったのですが、特派員に任命していただくことになりました。

上田 特派員になった動機は、その時は町民になってまた二年で子供もなく自分の興味のある範囲



▲上田美佐子前特派員

三年間の経験は私たちの宝物

上田・小林前特派員

特派員をしていて苦労した事は?

鎌屋 では、逆に困ったことや苦労した事はありますか。

小林 原稿をまとめるのに、最初の頃は原稿用紙二枚くらいひびつきの記事に何十枚もの原稿を書いていた。書いた原稿は家族全員にチェックしてもらって自分も、みんなに見てもらって自分も気が付かない点を指摘されたりして助かりました。また、難しいテーマの時は図書館で何冊も関連する本を借りて勉強しました。

意味をちゃんと把握して使うためにいつも辞書片手でした。新聞やミニコミ紙もこれまでただ読んでいただけのものが、編集する立場でレポートや言い回しなどに注意して読むようになりました。

取材で苦労したのは、わたしも飛び込み取材で街頭で、知らない人に声をかけて取材するのですが、声をかけてもさっさと逃げられたり、話を聞いていただけて最後に写真を撮らせてくださらないとお願いすると



▲鎌屋郁子新特派員

結婚12年で転居5回。誰とでも気軽に話ができるのはそのおかげかもしれません。特派員活動を通して、もっと猪名川を好きになりたいと思っています。これから多くの方にお会いできるのがとても楽しみです。

上田 いい加減なことは書けないので、調べものもたくさんあります。専門書は難しく書いてあるもので、それを分かりやすいように噛み砕いて書くのにも苦労しました。原稿を書く時は漢字や漢字の

たいというのが応募の動機でした。新特派員のお二人はどんな動機で応募されたんですか。

森 いながわ特派員報告を見ていつも柔らかい紙面だなと感じていました。内容も全然行政寄りではなくて、ありのままを伝えてくれるんだという感じを受けました。そういう紙面を作っていけるということに、猪名川町のふところの深さも感じていました。その中で、特派員の募集記事を見つけて、私

もやってみようと思った。特派員に応募した動機は、広報に募集記事が載っているのを見て、条件を満たしているのを試してみようと思った。応募するために履歴書や原稿用紙を買いに走り、一生懸命作文を書きました。書いた作文は主人にチェックしてもらい何度も書き直しました。今回縁があつて担当させていたなくことになり大変喜んでます。



▲小林悦子前特派員

特派員をしていてよかった事は?

森 三年間いながわ特派員をやっていた良かったことはどんな事がありましたか。

上田 取材中に「広報の取材ですか」「広報見てますよ」と声をかけていたときはすごく嬉しい気持ちになりましたし、色々な人の話を聞くことができた大変勉強になりました。その人たちの出合いは私の宝物になっています。

また、特派員でないとなかなか体験できないことが体験できたりと、たくさん良いところがありました。

小林 取材は非常に楽しかったです。ガーデニングやハーブ、パードウォッチングなど楽しい取材では、その都度その魅力に引き込まれて、興味でこれまで以上に増えていました。また、トライやるウィークやPTA活動の取材では子どもを持つ親として大変勉強になることはありでしたし、ごみ問題やリサイクル、介護保険などの取材では将来の事について考えさせられました。街頭で全然知らない人に声をかけて、飛び込み取材するのは最初はイヤなものでしたが、そのうちになれてきて迎に知らない人に話を聞くのが楽しくなってきました。

人と人とのつながりを大切に

鎌屋・森新特派員

の姿をレポートしてみたいと思っています。

鎌屋 自分の住む町がどんな町か、どんな人がいてどんなイベントがあるのか自分も興味のあるものがいっぱいあります。そんな中で、やはり人を中心としたレポートをしていきたいと考えています。例えば、昔から住んでいるお年寄りに昔話を聞いてもらったり、何かに熱中している人や、野菜の無人販売をしている農家の人

テーマを取り上げていきたいと考えています。

森 ロックフェスやイベントなんでも、昨年スタッフで参加して、すごくいい取り組みたかったので、ぜひとも取り上げたいと思っています。行政がロックを取り上げてイベントをするなんてことは、私が学生だった頃は、ロックイコール不良みたいに見られていたので考えられませんでした。役場の担当の方も一生懸命に取り組んでおられましたし、出演者やスタッフのイベントを成功させようと頑張っている姿に感動しましたので、そ



▲森英美子新特派員

「写真はちょっと」と断られたり、総合公園などで取材すると半分以上が町外の人だったりとか、何十人もの人を取材しなければ紙面に掲載する人数が確保できず苦労しました。また、広報の発行が一月先なので、季節を先取りする必要があるのですが、花や食材などは取材時にはなかったりといったところがあり、そのあたりでも苦労することが多かったんです。

これから取り上げていきたいテーマは?

上田 これからお二人は、どんな

来月号から私たちががんばっていききたいと思います。本日はありがとうございました。